

九州物流改善事例発表会2026

～発表者募集～

改善活動の成果事例を広く募集いたします。お気軽にお申込みください。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）は、九州・山口地域ロジスティクス委員会のもと「九州物流改善事例発表会2026」を開催いたします。

本発表会は、物流現場で取り組まれている改善事例の発表を通じて、物流業務の効率化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う場として、九州・山口地域では9回目の開催となります。身近な工夫など、物流現場改善の成果を気軽にご発表ください。

物流現場で改善に取り組んでいらっしゃる方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

●開催日：2026年11月27日(金)13:00～17:30 (予定)

●会場：リファレンス駅東ビル 4階 会議室Q (博多駅 徒歩4分)

※会場参加とオンライン(Zoom)を組み合わせて開催します(選択式)

発表者：会場発表を原則といたします

聴講者：会場もしくはオンライン(Zoom)にて聴講

≪九州物流改善事例発表会2025 (前回) 会場風景≫



【事例発表】



【名刺交換会/交流会】



【応募締切】 2026年7月24日(金)

【発表要領通知】 2026年8月下旬を予定

【発表原稿提出期限】 2026年10月30日(金)

◆事務局・お問合せ先◆公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11F

e-mail:kansai@logistics.or.jp (お問合せはe-mailにてお願いいたします)

<https://www1.logistics.or.jp/>

九州物流改善事例発表会2026 発表者募集のご案内

◆募集内容◆

- ・物流現場での、ちょっとした工夫やさりげない努力など、すぐに応用できそうな改善の事例
- ・物流現場で身近に行われている小集団活動等による生産性、品質、安全性、顧客サービス向上、コスト低減、環境負荷軽減、自動化・省人化を実現した事例 など

※若手社員の教育の一環としても、本発表会のご活用をご検討ください。

(若手社員が改善活動に取り組むきっかけとしていただき、その成果(改善事例)を発表する場としてご活用ください。)

例えばこんな物流改善事例はありませんか？

I. 物流業務部門

(物流センター、工場、商業施設等の構内での現場改善)

庫内作業の改善例

- ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善
- 人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化
- 荷役機械、保管設備、パレット、容器、情報端末等の改善
- 出荷頻度や取扱製品に応じた保管、配置方法の改善
- 作業環境、作業方法の改善
- 包装作業の改善

輸配送の改善例

- 復路輸送の空荷防止などによる収益の向上
- 誤出荷、誤納の減少
- トラックの積載率、回転率、運行効率の向上
- トラックの滞留・積載時間の短縮

輸出・輸入業務の改善例

- 港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善
- コンテナ輸送における物流の効率化
- 通関業務における事務作業の改善

テクノロジーを活用した改善例

- マテハン機器・省人化機器(ロボティクス)・IoT・AIの活用による効率化・改善 等

II. 物流管理部門

(運営・管理部門での改善)

物流システムの改善例

- 物流拠点の統合・再配置による改善
- 事前出荷情報の取得と活用による改善
- 国内・海外物流拠点間輸配送の改善
- 港湾地区における渋滞への対応
- IT・IoT活用による効率化、業務改善
- 物流に配慮した包装設計
- パレット、包装資材の環境対策

管理系(取引条件等)の改善例

- 納期回答の迅速化
- 取引条件の変更による改善
- 物流変動に合わせた作業体制の構築
- 在庫の適正化
- 現場事務へのRPAの活用 等

物流全般

- 環境対応、環境負荷の低減を目指した活動
- CSの向上(クレームの減少)
- 災害対応について(震災・水害等)
- 教育訓練によるモラル・モチベーションの向上
- 労働力不足への対応
- 労働環境改善、働き方改革
- 作業安全性向上への取り組み
- SDGsおよびサステナビリティに向けた取り組み
- 企業連携・サプライチェーンへの取り組み

九州物流改善事例発表会2026 発表者募集のご案内

<応募要領>

1. 応募から発表までの流れ



2. 応募方法

発表申込書を事務局宛にご送付ください。ご応募はメールにて受け付けております。申込書はホームページからダウンロードをお願いします。

※右記2次元コードからもご確認いただけます。

https://www1.logistics.or.jp/network/kyushu_kaizen_application.html



《申込書記載内容》

| | 応募内容の項目 | 説明 |
|---|-------------------------------|--|
| 1 | 改善事例テーマ | 改善事例にテーマをつけてください。 |
| 2 | 改善のポイント(改善事例の要約) | 発表内容150文字程度で記載ください。 ※参加者募集パンフレットに記載 |
| 3 | 改善の取り組み内容 (現状把握・企画立案・改善実行) | 現状分析、問題点の抽出、改善活動の取り組み内容について具体的に記述ください。 |
| 4 | 改善の成果 | 定量的および定性的な成果についてご記入ください。 |

※企業および製品・サービスPR 内容でのご応募はご遠慮ください。

〈ご送付先〉公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部 星野 宛 kansai@logistics.or.jp

3. 優秀事例（発表事例）選考および全日本物流改善事例大会への推薦について

「九州・山口地域ロジスティクス委員会」にて発表申込書の内容を基に優秀事例（発表事例）を選考いたします。

※発表時間枠は事務局にて決定させていただきます。

※1社から複数の応募があった場合は、発表いただける事例数を制限させていただく場合がございます。

ご発表いただいた事例は優秀事例として発表会場で記念品を贈呈し、表彰いたします。

優秀事例（発表事例）については、「九州・山口地域ロジスティクス委員会」においてその内容を審査し、特に優秀とされた事例については、「全日本物流改善事例大会（東京開催）」に推薦いたします。

4. 発表資料提出の締切日

優秀事例に選ばれた方には、発表会にて配布するテキストの作成をお願いしております。

テキストは改善の背景・目的・成果等、ご発表いただく内容を網羅したものを作成してください。

★原稿枚数：10枚程度、パワーポイント原稿

詳細につきましては別途ご案内いたします。

【ご参考】前回開催時（2025年11月）の発表企業と発表テーマ

※発表順：社名は発表当時のもの

| |
|---|
| トヨタ自動車九州株式会社：【Team Kyushuで取り組む荷姿改善へのチャレンジ ～新たな物流改革へ～】 |
| 株式会社ワールドスタッフィング：【自社倉庫新規立上げにおける人材採用】 |
| 株式会社安川ロジステック：【幹線便輸送における輸送モードの拡大】 |
| 琉球物流株式会社：【物流ABC(Activity-Based Costing)を用いた現場改善】 |
| 株式会社グランプログレス・矢崎化工株式会社：【清掃用カートの最適化による業務改善】 |
| 三菱倉庫株式会社：【RPAロボットやIoT技術の活用による箱崎事務所業務の平準化促進】 |

九州物流改善事例発表会2026 開催要領

- 目的: 少子高齢化による労働力不足に伴い、ロジスティクス・物流の持続可能性が社会的な課題となっている。そのような中、サプライチェーンマネジメント、ロジスティクスを効果的に機能させるためには、経営その他の環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する力をつける「物流の現場力」の強化や「自動化・省人化」は欠かせない。そこで、九州・山口地域企業の物流改善事例を広く募集し、その発表を通じて、物流効率化や環境負荷軽減活動等の推進に資することを目的とする。
- 会 期: 2026年11月27日 (金) 13:00~17:30 (予定)
- 会 場: リファレンス駅東ビル 4階 会議室Q
- 開催形式: 会場参加、オンライン参加の選択形式
- 参加者数: 100名(目標: 集合型+オンラインの合計)
- 発表者・参加者相互の交流会の実施
※発表会終了後、発表者と参加者が相互に交流できる名刺交換・交流会を実施します。
- 企画運営: 九州・山口地域ロジスティクス委員会
- 主 催: 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

物流改善ポータルサイトをご活用ください

<https://www1.logistics.or.jp/data/subdivision/>

物流現場改善優良認定制度について

<https://www1.logistics.or.jp/data/kaizen/>

物流現場力強化のためのヒントやツールを提供しています。物流現場が自発的に考え、率先して改善する力を養うための手引書や、改善の事例集などを公開しています。詳細は、上記URLをご覧ください。

物流現場改善優良認定は、物流現場改善の先進企業を認定することで、広く産業界に周知する制度です。企業の価値向上とともに、物流現場改善活動の活性化、物流改善担当者のスキルアップに本制度をご活用ください。制度の概要、認定対象等詳細は、上記URLをご覧ください。

九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員一覧

(順不同・敬称略)
(2026年3月19日時点)

| | | | |
|----|------|--------|-----------------------------------|
| 1 | 委員長 | 松本 豊樹 | (株)安川ロジステック 代表取締役社長 |
| 2 | 副委員長 | 星野 裕志 | 中村学園大学流通科学部 特任教授・九州大学 名誉教授 |
| 3 | 副委員長 | 河村 孝史 | TOTO(株) サプライチェーン本部 物流推進部 部長 |
| 4 | 委員 | 世戸 武男 | アサヒロジ(株) 西日本支社営業部 部長 |
| 5 | 委員 | 吉元 正美 | 臼杵運送(株) 執行役員 西九州統括本部 副本部長 |
| 6 | 委員 | 磯野 崇 | SBS東芝ロジスティクス(株) 九州支店 支店長 |
| 7 | 委員 | 堀内 憲一郎 | 霧島酒造(株) 取締役 SCM本部 本部長 |
| 8 | 委員 | 中村 星児 | 久留米運送(株) 九州北地区本部 営業管理部 部長 |
| 9 | 委員 | 平田 圭 | (株)健康家族 熊本支社 支社長 |
| 10 | 委員 | 福田 成雪 | 金剛(株) 顧問 |
| 11 | 委員 | 佐藤 健太 | (株)サトウロジック 取締役 / 営業部長 |
| 12 | 委員 | 南 利典 | 三和酒類(株) 生産本部 部長 |
| 13 | 委員 | 秋本 委 | 西部電機(株) マテハン事業部 技術部 |
| 14 | 委員 | 田坂 靖 | トヨタ自動車九州(株) 生産企画部 企画室 物流企画G グループ長 |
| 15 | 委員 | 吉富 秀介 | 中川運輸(株) 代表取締役社長 |
| 16 | 委員 | 廣山 勝一 | 日本通運(株) Westカンパニー 九州営業部 部長 |
| 17 | 委員 | 眞鍋 和弘 | (株)博運社 代表取締役社長 |
| 18 | 委員 | 初村 雅敏 | 初村ロジソリューションズ(株) 代表取締役 |
| 19 | 委員 | 辻本 晃教 | (株)松岡 物流部 西日本地区リーダー 福岡物流センター 所長 |
| 20 | 委員 | 竹川 晃司 | 三菱倉庫(株) 福岡支店 支店長 |
| 21 | 委員 | 平田 真一 | (株)安川ロジステック 管理本部 部長 |
| 22 | 委員 | 御船 弘久 | ヤマエ久野(株) 常務執行役員 物流本部 副本部長 |